

文社益々清健幸甚賀

矣

此頃南洲甲東杉菊三

傑氣象凡未ヲ叙シ題

ニテ維傑三傑ト曰フ今日人

心若女麻の際聊カ以テ少年

子弟ヲ提醒セントスルノ微

衷ニ出ツ右印刷楯成ニ付

巻首ニ一辯ノ法親筆ヲ

仰キ及蒼シ三傑以後隱然

重キヲ天下ニ有スルモノ獨リ際

下アルノミ僅ノ一言ヲ際下ニ

望ムノ精神ハ在リ甚ク悲味

ノ至ニ堪スト雖モ一言ヲ各マシ

法壇灑アランヲテ望ム

下アルノミ 僅ノ一言ヲ 際下ニ  
望ムノ精神ハニ在リ、甚ク恐棟  
ノ至ニ堪スト 雖モ一言ヲ各マカ  
使 據 瀟 アラシクテ 望ム、

書外拜謁ノ時ニ 譲リ 廿ノ

如此

後進北村三郎

大隈老院

函丈

東京牛込区早稲田

大隈伯重

素親展

信 木



十九五

麻布宮村町七十七番地

北村三郎

